

# 2024年度 第2四半期決算 補足資料

---

2024年10月31日  
北海道ガス株式会社

# 2024年度 中間決算の概要

売上高は、原料費調整制度による販売単価の低下等により、減収

経常利益は、会員制Webサイト「TagTag」の機能拡充によるお客さまの利便性向上や持続的な成長に向けた戦略投資（システム関連費用等）の増加等により、減益

北ガスグループ<sup>°</sup>（連結）〈3期ぶりの減収・4期ぶりの減益[経常利益]〉（ ）内は、前年同期比

売上高	680.2億 (▲49.2億円、▲6.7%)	経常利益	48.9億円 (▲13.2億円、▲21.4%)
営業利益	47.9億 (▲12.5億円、▲20.7%)	中間純利益 <sup>※</sup>	34.8億円 (▲9.5億円、▲21.4%)

※親会社株主に帰属する中間純利益

北海道ガス（個別）〈3期ぶりの減収・5期ぶりの減益[経常利益]〉（ ）内は、前年同期比

売上高	593.4億 (▲49.3億円、▲7.7%)	経常利益	43.4億円 (▲8.0億円、▲15.6%)
営業利益	43.9億 (▲8.1億円、▲15.6%)	中間純利益	31.2億円 (▲5.8億円、▲15.8%)

## 個別

### 3期ぶりの減収・5期ぶりの減益

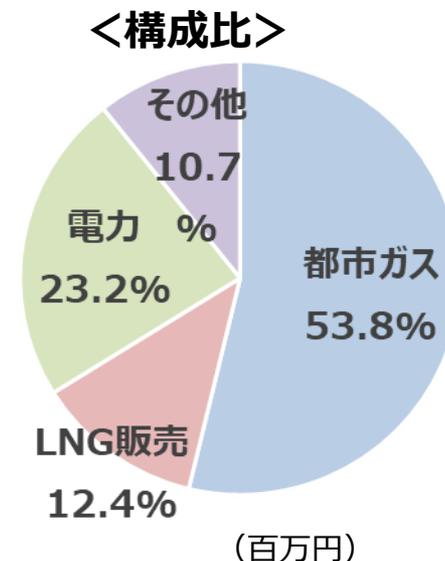
- 原料費調整制度による販売単価の低下等により減収
- 会員制Webサイト「TagTag」の機能拡充によるお客さまの利便性向上や持続的な成長に向けた戦略投資（システム関連費用等）の増加等により減益

	当期	前年同期	増減	増減率	主な理由等
売上高	<b>59,343</b>	64,277	▲4,934	▲7.7%	・原料費調整制度による販売単価の低下 等 ・3期ぶりの減収
営業利益	<b>4,397</b>	5,213	▲815	▲15.6%	・戦略的経費（システム関連費用等）の増加
(営業外損益)	▲49	▲59	+10	-	
経常利益	<b>4,348</b>	5,153	▲805	▲15.6%	・5期ぶりの減益
(特別損益)	-	-	-	-	
中間純利益	<b>3,127</b>	3,713	▲585	▲15.8%	・5期ぶりの減益

# 2024年度 中間決算 <売上高 内訳>

## 個別

- 都市ガスは販売量がほぼ前年並み、LNGは販売量が増加したものの、いずれも、原料費調整制度による販売単価の低下等により減収
- 電力は家庭用の販売量が増加したものの、高圧・特高の販売量の減少等により減収



項目	当期	構成比	前年同期	構成比	増減	増減率
都市ガス	31,901	(53.8%)	34,875	(54.3%)	▲2,973	▲8.5%
LNG販売	7,345	(12.4%)	8,105	(12.6%)	▲759	▲9.4%
電力	13,746	(23.2%)	14,691	(22.9%)	▲944	▲6.4%
器具・工事その他 (LPG等 附帯事業含む)	6,348	(10.7%)	6,605	(10.3%)	▲256	▲3.9%
合計	59,343	(100%)	64,277	(100%)	▲4,934	▲7.7%

## 連結

### 3期ぶりの減収・4期ぶりの減益

**LPG販売量が増加したものの、個別決算の減収等により  
売上高は、前年同期比6.7%減。経常利益は同21.4%減**

#### ◇中間実績

(百万円)

	当期	前年同期	増減	増減率	主な理由等
売上高	<b>68,024</b>	72,947	▲4,922	▲6.7%	・原料費調整制度による販売単価の低下 ・3期ぶりの減収
営業利益	<b>4,792</b>	6,044	▲1,251	▲20.7%	・5期ぶりの減益
経常利益	<b>4,892</b>	6,220	▲1,328	▲21.4%	・4期ぶりの減益
親会社株主に帰属する 中間純利益	<b>3,485</b>	4,435	▲950	▲21.4%	・4期ぶりの減益

#### ◇売上高 内訳 (セグメント別)

(百万円)

項目	当期	構成比	前年同期	構成比	増減	増減率
ガス (都市ガス、LNG販売)	<b>38,988</b>	(57.3%)	42,931	(58.9%)	▲3,943	▲9.2%
電力	<b>13,654</b>	(20.1%)	14,608	(20.0%)	▲954	▲6.5%
エネルギー関連 (器具・工事、LPG他)	<b>14,828</b>	(21.8%)	14,789	(20.3%)	+39	+0.3%
その他	<b>553</b>	(0.8%)	617	(0.8%)	▲64	▲10.4%
合計	<b>68,024</b>	(100%)	72,947	(100%)	▲4,922	▲6.7%

## 利益剰余金の増加等により、自己資本比率は44.9%に上昇

(億円)

項目	当期	前期末	増減	主な理由
総資産	<b>1,767</b>	1,863	▲95	・減価償却による固定資産の減少 ・季節的要因による売掛金等の減少
負債	<b>951</b>	1,073	▲122	・有利子負債の減少 ・買掛金の減少
純資産	<b>816</b>	790	+26	・中間純利益による利益剰余金の増加

(億円)

項目	当期	前期末	増減
有利子負債 (億円)	<b>679</b>	751	▲71
自己資本比率 (%)	<b>44.9</b>	41.2	+3.7

# 主要計数 <ガス（お客さま件数）>

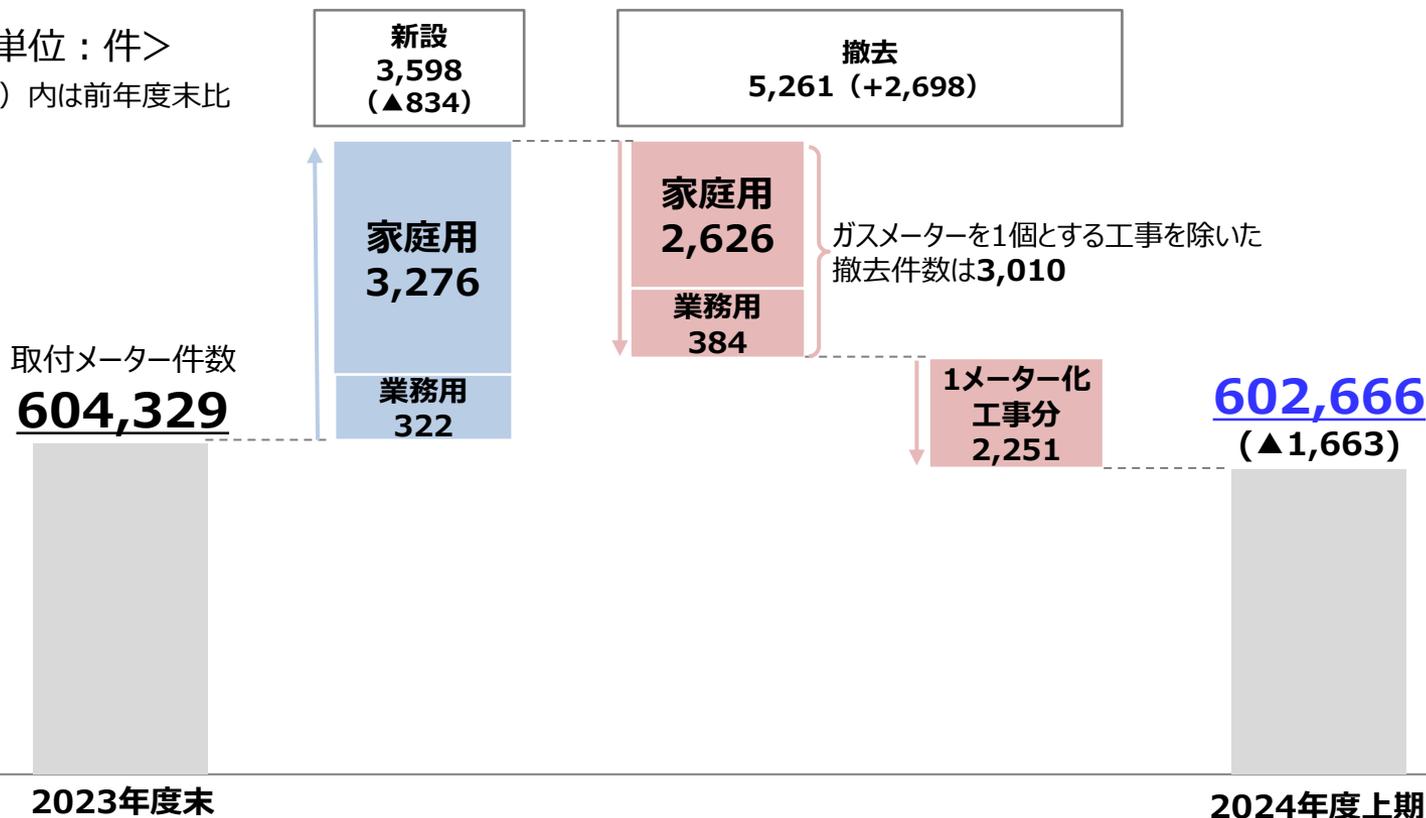
お客さま件数  
(取付メーター件数)

**602,666 件** (前年度末比 ▲1,663件)

- ・住宅着工件数は減少する中、集合物件を中心に新築家庭用のお客さまを順調に獲得
- ・導管事業運営の合理化等を目的に、厨房用と暖房用の2個のメーターを1個とする工事※（今期▲2,251件）を進めており、撤去数は増加

※ガスメーターを1個にすることによるお客さまのガス使用量への影響はありません。

<単位：件>  
( ) 内は前年度末比



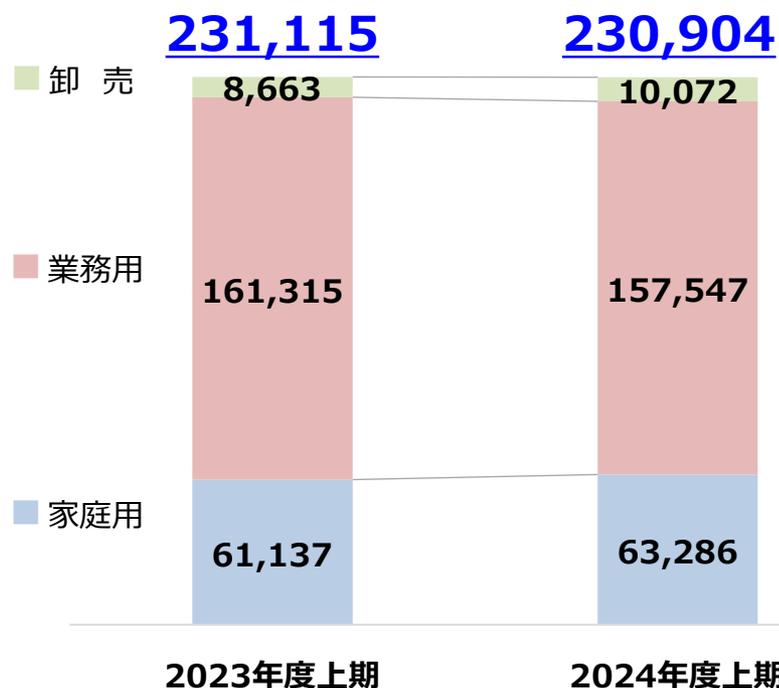
# 主要計数 <ガス（販売量）>

## ガス販売量

2億3千1百万m<sup>3</sup>（前年同期比 ▲0.1%）

- 家庭用は、新築のお客さま獲得を着実に進めるとともに、春先の気温が低く推移したこと等により増加
- 業務用は、前年の記録的な猛暑に伴う空調需要の反動減等により減少

<単位：千m<sup>3</sup>>



### ◆前年同期との比較

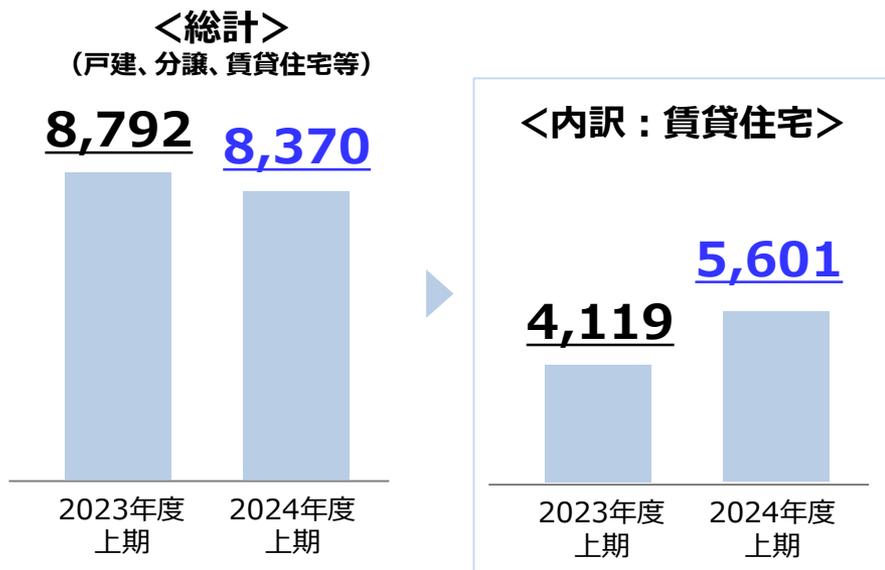
合計 : ▲211千m<sup>3</sup> (▲0.1%)

業務用 : ▲3,768千m<sup>3</sup> (▲2.3%)  
前年の記録的な猛暑に伴う空調需要の反動減等

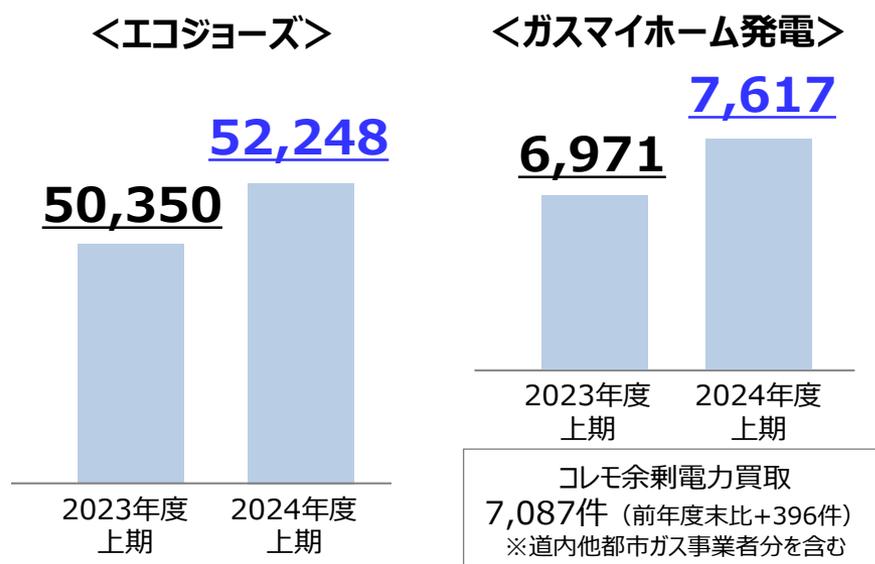
家庭用 : +2,149千m<sup>3</sup> (+3.5%)  
春先の気温が低く推移した影響等により増加

- ・ 新築住宅では、戸建・分譲マンションの着工件数が減少する中、着実に8,370件を獲得
- ・ 中でも賃貸住宅では、着工件数の増加に加え、天然ガスの経済性による入居率の高さが浸透し、5,601件を獲得（対前年+1,482件）
- ・ ガスマイホーム発電は省エネ性と災害対応力をPRし、累計設置件数は7,617件に  
コレモ余剰電力買取は7,087件まで拡大

## 新築住宅獲得件数 [件]



## 省エネ型システム累計設置件数 [件]



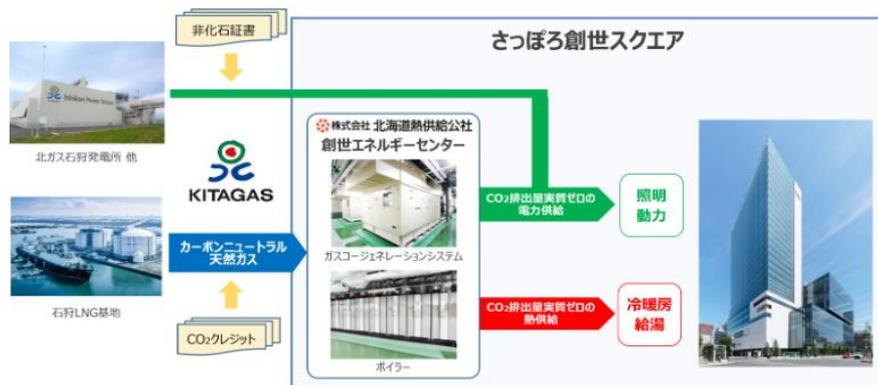
**<EMINEL>** 稼働件数1,914件 (前年度末比+168件)

- J-クレジットの活用やZEB※など組み合わせ、環境価値を付加したカーボン・オフセット都市ガス等の採用件数が伸長
- 高い省エネ性とレジリエンス性を実現するガスシステムを活用したZEBを展開
- 食品工場のお客さまが増加し、LNGサテライト供給が伸長

※ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）：建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物

## カーボン・オフセット都市ガスの採用拡大

- カーボン・オフセット都市ガス等の採用物件が、累計57件に拡大（前年度末比+31件）
- J-クレジットの活用やZEBなど組み合わせた提案を行い、お客さまとともに、北海道の脱炭素・低炭素化推進に向けた取り組みを推進



さっぽろ創世スクエアでは、使用する電力・熱のCO<sub>2</sub>排出量の全てに対してカーボン・オフセットを実施します(約9,200トン/年のCO<sub>2</sub>排出量をオフセット)

## 環境負荷低減・省エネに資するサービスの提供

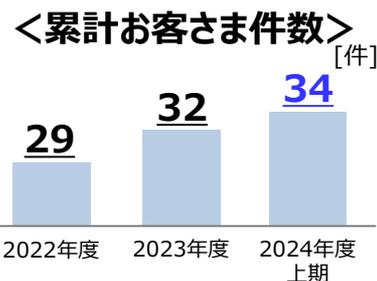
- ZEBプランニング案件が着実に増加し、累計5物件が竣工
- 停電時にも事業継続可能なレジリエンス強化型ZEBの実現



和光ホールディングス様

## LNGサテライト供給

- 都市ガス供給エリア外の全道のお客さまへ供給



# 主要計数 <電力>

お客さま件数

**258,588**件  
(前年度末比 +4,632件)

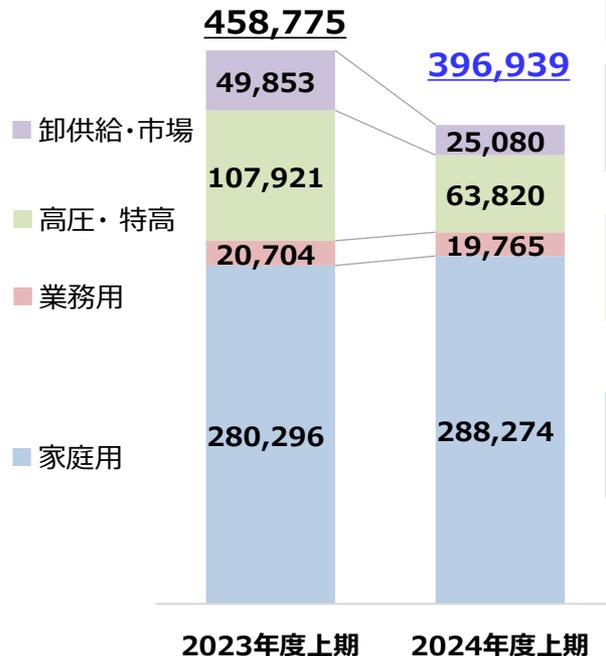
電力販売量

**3億9千7百万**kWh  
(前年同期比▲62百万kWh、▲13.5%)

- Webマーケティング強化や省エネサービス訴求により、家庭用のお客さま件数は堅調に推移
- 販売量は、家庭用が増加したものの、高圧・特高が減少したことにより減少
- 会員制Webサイト「TagTag」の会員数は、上半期で10万件以上増加し27.8万件に

## <販売量内訳>

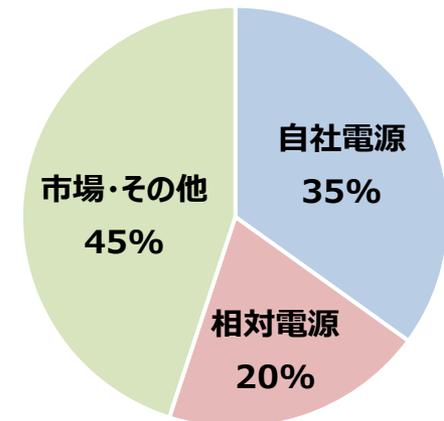
(単位：千kWh)



合計	: ▲62百万kWh (▲13.5%)
卸供給・市場	: ▲25百万kWh (▲49.7%) 市場価格動向等を踏まえた供給量の減少
高圧・特高	: ▲44百万kWh (▲40.9%) 大口のお客さまの減少等
家庭用	: +8百万kWh (+2.8%) お客さま件数の増加

## <2024年度上期の電源構成>

北ガス石狩発電所等の自社電源と  
相対・市場調達の最適な組み合わせで  
安定的に電力供給を継続



【kWhベース】

## 業績予想は変更なし

( ) 内は前年同期比

ガス	販売量	<b>6億5千万m<sup>3</sup></b>	(+8百万m <sup>3</sup> 、+1.3%)
	取付メーター件数	<b>60.5万件</b>	(+1千件、+0.2%)
電力	販売量	<b>8億9千万kWh</b>	(▲83百万kWh、▲8.6%)
	お客さま件数	<b>26.0万件</b>	(+6千件、+2.5%)

### 北ガスグループ (連結)

### 北海道ガス (個別)

売上高	<b>1,660億円</b> (▲4.5%)	売上高	<b>1,440億円</b> (▲4.8%)
経常利益	<b>135億円</b> (▲15.0%)	経常利益	<b>120億円</b> (▲13.5%)
当期純利益※	<b>98億円</b> (▲15.7%)	当期純利益	<b>87億円</b> (▲13.9%)

※ 親会社株式に帰属する当期純利益

# 2024年度 配当について

- 継続的かつ安定的に配当を実施
- 中間配当は、1株あたり45円
- 期末配当は、10月1日を効力発生日として1株につき5株の株式分割を実施し、9円（予想）

➡株式分割を考慮しない場合の期末配当は、第2四半期末同様45円となり、年間配当金は実質的に2023年度より10円増配の90円

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2025年3月期	<u>45円00銭</u>	<u>(9円00銭)</u>	—
2024年3月期 (前期実績)	35円00銭	45円00銭	80円00銭

※2025年3月期の（ ）内は予想値

# 2024年度の主な取り組み

## お客さまサービスの拡充

～ 昨年10月にリリースした情報プラットフォーム「Xzilla」を活用 ～

## 会員制Webサイト「TagTag」のリニューアル

- ・請求のお知らせ方法のペーパーレス化に合わせ、情報プラットフォーム「Xzilla」に蓄積された情報を活用し省エネに関する情報発信の充実や、TagTagのトップページで料金・使用量を確認可能とした他、口座・クレジットのWeb登録機能や電子請求の導入など、利便性を向上
- ・年度内の会員数30万件に向け、お客さまとのコミュニケーション強化、サービス内容の充実を図る

## 再生可能エネルギーの導入拡大

～ 4月に新設した「環境・地域共創推進部」にて取り組みを推進 ～

## 上士幌町太陽光発電所の建設

- ・上士幌町の脱炭素先行地域事業の1施策として、上士幌町との連携協定に基づき、町有地に2MWの太陽光を建設中。来年度の営業運転開始を予定

## 厚沢部町の「脱炭素先行地域」選定

- ・本年9月に、厚沢部町が脱炭素先行地域（当社は共同提案者として参画）に選定され、風力・水力・太陽光発電等の再エネ電源の新規導入を支援

## 北ガス石狩風力発電所の建設

- ・2023年4月より建設中。今年度内の営業運転開始を予定
- ・北ガス石狩発電所のガスエンジン（12台、93,600kW）との連携により、風況による出力変動を調整
- ・FIP（Feed-in-Premium）制度を活用し、環境価値を持つ電源として活用

会員情報の編集/退会		840 POINT ポイント交換はこちら
北海道札幌市中央区		
ガス	期間	2024年10月
	料金	7,010円
	使用量	35㎡
電気	期間	2024年10月
	料金	9,762円
	使用量	267kWh

▲ TagTagトップページ（スマホ画面）



▲ 北ガス石狩風力発電所の建設の様子